

## 創世記 42-45 章 救済者が身を明かす

今日、ヨセフの生涯に戻ると、エジプトでファラオについて命令系統で第二番目にいる彼を見つけます。エジプトだけではなくその地域のどの国々でも甚大な影響を受けていた7年間の飢饉を生き延びるために、エジプト経済の管理責任を担っていました。次の部分は4章に渡って繰り返される物語です。言うまでもなく、これら134節の聖句に含まれるほとんどを今日は読みませんが、全体でヨセフが彼の兄弟たちに自分自身を明かし、彼の家族を飢餓から救うところまで導きます。まだこれら4章を読まれていなければ、この一週間を使ってぜひ読み聖書の描く全体を見てください。ここでは多くの出来事を要約しますが、それで満足せずにご自身でそれらの出来事を聖書からお読みください。まず祈り、きょうの聖書箇所に入って行きましょう。祈りましょう。

42章の物語が始まると、飢饉がカナンの地に住むヤコブと彼の家族に影響を与えてたことを知ります。彼らがエジプトで食糧が買えると分かるとヤコブは末っ子のベニヤミンを除いた彼の息子たち全員をエジプトに遣わしました。何が起るかを読み始めるとすぐにこれから起ることを暗示することを意図していた過去の出来事の説明がわかり始めます。創世記42章6節は言います。創世記 42章6節 ときに、ヨセフはこの地の権力者であり、この地のすべての人に穀物を売る者であった。ヨセフの兄弟たちはやって来て、顔を地に付けて彼を伏し拝んだ。そして9節で

こう言っています。かつて彼らについて見た夢を思い出して、ヨセフは言った。これは勿論ヨセフが青年だった頃見た、彼の家族が彼の前にひれ伏すのを象徴する畑で麦の束を、空に太陽、月と星の夢を振り返っているのです。さて、ヨセフはすぐに彼の兄弟たちに自分自身を明かしませんでした。実際、ヨセフは彼らに気づきましたが、彼らにスパイの容疑をかけました。ヨセフは彼らを釈放し食べ物を与える前に彼らを3日間刑務所に留置させました。そして、彼らに二つの条件の下でのみエジプトを去ることが許しました。一つは、彼らの正直さを試すために、シメオンをエジプトの牢屋に留置したままにしておくこと。実際、ヨセフは彼らが正直である事はもうすでに知っていましたが、あえてそう言っています。彼らはヨセフに全てを話しました。彼らが12人兄弟であり、その中の一人であるヨセフは昔、殺された事、末っ子のベニヤミンは彼らの父と一緒に家にいる事を伝えました。それがヨセフが彼らに課した二つめの条件で、彼らに戻る時、彼らはベニヤミンを連れてくる事、さもなければ、彼らはもうこれ以上援助は受け取れなくなるのです。ヨセフにとりベニヤミンが誰であるか憶えていますか。彼はヨセフの唯一の弟で同じ父と母の兄弟です。母親のラケルはベニヤミンの出産の時に亡くなりました。これがこの兄弟たちの旅の試練の終わりではありませんでした。ヨセフは密かに彼らの支払った代金を戻していたのです。兄弟たちは家に帰る途中で穀物の入った袋に入れてあるのを見つけました。彼らが彼らの父や昆布の元に帰った時、彼らは彼にヨセフが彼らに言ったことの全てを彼らがベンジャミンを連れていかなければからエアは戻ることができないと言われたことを含めて伝えました。勿論、ヤコブはすでにヨセフを失い、彼の最愛の妻、ラケルを唯一思い出させるもう一人の子を失うことができないので、この考えに強く反対しました。しかし、飢饉は延々と長引き、やがてヤコブの家族の食糧が再びそこをつきます。ヤコブは息子たちにエジプトへ行くよう頼みましたが、ユダはベニヤミン抜きでは行かれないと答えました。ヤコブは最終的に折れて、ベニヤミンが彼らと行くことを許します。そして、ヤコブは彼らに彼らの袋に返されたお金の他に贈り物を持っていくように伝えました。彼らはエジプトに着き、ヨセフは彼らに僕を通して彼と共にごちそうを楽しむよう招きました。この時点で兄弟たちはシメオンと再会します。彼らはヨセフを見ると、彼の前で平伏して、贈り物と元の代金を差し出しました。彼らはおそらくヨセフは彼らが最初に支払ったお金を盗んだと思っているだろうと考えていたため、なにか悪いことが起るのではと思い込んでいました。43章23節で、彼らの状況を彼らに会った管財人に説明しようとしたのですが、管財人は興味深い応え方をしました。創世記 43章23節 彼は答えた。「安心しなさい。恐れることはありません。あなたがたの神、あなたがたの父の神が、あなたがたのために袋の中に宝を入れてくださったのです。あなたがたの銀は、私が受け取りました。」それから、彼はシメオンを彼らのところに連れて来た。

ヨセフは彼らの父親について尋ねますが、彼は最後に見た時は幼い男の子でしかなかったベニヤミンに会った瞬間、ヨセフは最愛の弟に再び会えたことで感情に圧倒されてしまいました。創世記 43章29~30節 29.ヨセフは目を上げ、同じ母の子である弟のベニヤミンを見て言った。「これが、おまえたちが私に話した末の弟か。」そして言った。「わが子よ、神がおまえを恵まれるように。」 30.ヨセフは弟なつかしさに、胸が熱くなって泣きたくなり、急いで奥の部屋に入って、そこで泣いた。

彼は彼らに何かが起こっているという強烈な手がかりを与え始めます。エジプト人はヘブル人とは食事を共にしないため、彼らは全員互いから離れて座っていました。しかし、ヨセフが彼らを年齢順に座らせたため兄弟たちは驚きました。ベンヤミンの与えられたごちそうの量は他の兄弟たちの5倍の量でした。彼らが帰り支度をしている時、ヨセフは再び彼らの知らない間に彼らの袋に彼らのお金を戻します。そして、今回、彼の僕に彼自身の銀杯をベンヤミンの袋に忍ばさせました。兄弟たちが去ると、ヨセフは僕たちに追いかけて、彼から盗んだと訴えました。彼らは袋を探し言うまでもなくベンヤミンの袋に銀の杯を見つけます。この時点で、質問をさせてください。ヨセフはなぜ彼の兄弟たちとの対面の場でこのような方法で操作したのでしょうか。もう皆さんは、ヨセフが自身を明かし、彼の家族を救済するという結末をご存知のことと思います。それでは、なぜこのように彼の家族から真実を隠し、彼らを混乱させさせたのでしょうか。その答えはヨセフの生涯の本質にあります。覚えていますが、ヨセフはキリストの型として役割を果たしています。救いは罪の悔い改めがなければなりません。マタイの福音書 3章8節は言います。マタイの福音書 3章8節 **それなら、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。**

イザヤ書 30章 15節の前半は言います。イザヤ書 30章 15節

イスラエルの聖なる方、神である主はこう言われた。「立ち返って落ち着いていれば、あなたがたは救われ、静かにして信頼すれば、あなたがたは力を得る。」しかし、あなたがたはこれを望まなかった。

立ち返るとは悔い改めると同じ意味です。ルカの福音書 5章 32節でイエスはこう言っています。ルカの福音書 5章32節 **わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためです。**

そして、使徒の働き 3章 19節にはこう書かれています。使徒の働き 3章 19節 **ですから、悔い改めて神に立ち返りなさい。そうすれば、あなたがたの罪はぬぐい去られます。**

悔い改めは救いへの鍵です。あなたの罪を悔い改めずにキリストの元に来てても救いはありません。悔い改めとは罪を拒絶することです。あなたがもう決して罪を犯すことがないと言う意味でも、あなたがいますぐにあなたの人生の全ての罪への依存を断ち切れるようになるということでもありません。しかし、あなたが罪人であること、救い主イエス・キリストを通しての罪の赦しのみが答えであることを認めることです。あなたは罪を拒絶し、イエス・キリストに向くのです。

ヨセフの物語が救いについてであれば、この話に悔い改めを見るはずですが、そして、まさにそれを見ます。神はどの人の心も見通され、真に悔い改めているか否かをご存知ですが、ヨセフは人であり、彼の兄弟たちの心を読み取ることはできません。彼らの言動のみを見聞きできます。ですから、これは彼らの過去の悔い改めの兆候が示されるかどうかを見るための連続的試みなのです。ヨセフは彼らの会話を聞いておらず知りませんが、この物語を読む私たちは彼らの心の悔い改めの手がかりをの小さな見識を持つことができます。創世記 42章27節 **彼らは互いに言った。「まったく、われわれは弟のことで罰を受けているのだ。あれが、あわれみを求めたとき、その心の苦しみを見ながら、聞き入れなかった。それで、われわれはこんな苦しみにあっているのだ。**

創世記 42章28節でも、創世記 42章28節 **彼は兄弟たちに言った。「私の銀が戻されている。しかもこのとおり、私の袋の中に。」**彼らは動転し、身を震わせて、互いに言った。「神は私たちにいったい何をなさったのだろう。」

ですから、ここで 私たちは彼らの神の御前での過去の行いの責任の認識を見えています。これは罪の認識を示しています。この時点で、ユダが 44章で注目を浴びます。ヨセフは他の者は去ってもいいが、彼の杯を袋に見つけられた者だけが彼の奴隷として残ると言います。ユダのベンヤミンに代わってのヨセフに対する介入によって、悔い改めた心の真の姿を見ます。ここで、ユダが喋った言葉は意義深いです。ユダが過去にどうであったか覚えていますが。そもそも、彼がヨセフを売り彼らの父親を欺くよう扇動しました。彼は義理の娘を不当に扱い、最終的に彼女を遊女として買ってしまいました。しかし、今、ユダは彼が犯した最も凶悪な罪の被害者である兄弟に向き合い、彼の悔い改めは明らかです。彼はヨセフの生涯の全体の話を作り、何一つ隠そうとはしませんでした。彼のこの正直さの理由はベンヤミン以外にはありませんでした。実際、長子として、彼は彼の地位を彼の父の目からヨセフに奪われ、今、疑いもなく、ベンヤミンが父のお気に入りでした。彼にとり、ベンヤミン

もヨセフのように扱い、エジプトに置き去りにすることもできました。しかし、何かが変わっていました。それは彼の過去の後悔であり、悔い改めという言葉が一番ぴったりの罪悪感です。ユダがベンヤミンの代わってヨセフへの嘆願の終わりの部分でそれが顕著に表れています。創世記 44章 33-34節でユダは言います。 **創世記 44章 33~34節 33. ですから、どうか今、このしもべを、あの子の代わりに、あなた様の奴隷としてとどめ、あの子を兄弟たちと一緒に帰らせてください。34. あの子が一緒になくて、どうして私は父のところへ帰れるでしょう。父に起こるわざわいを見たくありません。**

ユダは彼の父のベンヤミンの溺愛を不快に思う以上に彼のことを案じています。そして、彼自身の命をベンヤミンを救うために犠牲にすることを提案します。

ユダの悔い改めは明らかであり、ユダからの心からの応答を見て、ヨセフはこの時、兄弟たちに彼自身の身を明かします。彼は兄弟以外の周りの者たち全員を部屋から出し、創世記 45章 2-4節 **創世記 45章 2~4節 2. ヨセフは声をあげて泣いた。エジプト人はその声を聞き、ファラオの家の者もそれを聞いた。3. ヨセフは兄弟たちに言った。「私はヨセフです。父上はお元気ですか。」兄弟たちはヨセフを前にして、驚きのあまり、答えることができなかった。4. ヨセフは兄弟たちに言った。「どうか私に近寄ってください。」彼らが近寄ると、ヨセフは言った。「私は、あなたがたがエジプトに売った弟のヨセフです。**

彼は兄弟たちに飢饉はこれからまだ 5年間続くこと、そして、彼らは父を連れて来て、家族全体と家畜などの財産をエジプトでヨセフの保護の下暮らすよう伝えました。ヨセフは彼らにゴシェンの地域に住むよう招きました。後に見ますがゴシェンは羊飼いが住むところでほとんどのエジプト人は羊飼いと関わらなければならないので、彼らはそっとしておかれました。とても愛溢れる感情的な再会でした。創世記 45章 14-15 節で彼らの再会の一端を味わうことができます。 **創世記 45章 14~15節 14. 彼は弟ベニヤミンの首を抱いて泣いた。ベニヤミンも彼の首を抱いて泣いた。15. 彼はまた、兄弟みなに口づけし、彼らを抱いて泣いた。それから兄弟たちは彼と語り合った。**

ファラオでさえヨセフと彼の家族の再会の知らせを聞き興奮しました。ファラオは兄弟たちに家族を連れてくるための馬車 を与え、彼らが必要とする運んで来れない物はエジプトで全て用意するので心配しないように伝えました。そして、彼らは 45章 24節でエジプトを離れます。 **創世記 45章 24節 こうしてヨセフは兄弟たちを送り出し、彼らが出発するとき、彼らに言った。「道中、言い争いをしないでください。」**ヨセフは彼らの過去を知っており、ヨセフの生存についての知らせを伝えることの難しさを予測していたのです。勿論、彼らの行いの責任を果たすことに関するので、ヨセフは彼らに言い争いをしないよう伝えます。彼は恨みを抱いていません。彼は許しを与え、彼の兄弟たちも同様の姿勢を家族の団結のために持つよう懇願しているのです。彼らがカナンについた時、彼らの父、ヤコブ、は最初は彼らを信じませんでした。しかし馬車や彼らがエジプトから持ち帰った物すべてを見た時、創世記 45章の終わり 28節でこう言います。 **創世記 45章 28節 イスラエルは言った。「十分だ。息子のヨセフがまだ生きているとは。私は死ぬ前に彼に会いに行こう。」**

いつも通り、創世記の他の箇所でもそうであったように、ここで、何が重要なのかを問う必要があります。ある意味で物語の全てが継続するテーマである、苦難における神の主権を指し示しています。私たちはやっとヨセフの生涯での彼の苦難の究極の理由を見ます。究極の理由はイスラエルの民を保護することによって、世にメシアをもたらすことです。しかし、物語のこの部分には特別な点があります。第一に、ヨセフの家族は無力であり、自分たちを救うためになす術がありませんでした。ヤコブがヨセフの兄弟たちをエジプトに遣わしたのは彼らが自分たちで、彼らの土地で作物を育てて、自分たちの食糧を自給することは無理だったからです。霊的には、私たちの真の救い主、イエス・キリストとの関係と同じです。救いは、私たちが私たちの罪から自分たちを救う事ができると信じている以上は、起こりえません。ローマ人への手紙5章10節は私たちが神の敵であると言っています。 **ローマ人への手紙 5章 10節 敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させていただいたのなら、和解させていただいた私たちが、御子のいのちによって救われるのは、なおいっそう確かなことです。**

世の中にはあまりにも多くの人たちが、そして、もしかしたら今お聞きになっている方々の中にも自分自身を救うことができないと認識していない方がいらっしゃるかもしれません。彼らは自分たちを神の敵とは思っていません。彼らは一生懸命働いて、そこそこ良い行いをして、教会にも出席して、献金もして、正しいことを考えていれば、ただ少し距離は置いているが神との正しい関係を修復でき

るだろうと考えています。しかし、私たちは単に神から距離を置いているのではなく、神の敵なのです。私たちはあまりにも神から、神の聖さ、完全さから遠く離れており、自分たちを贖う術はありません。それがヤコブと彼の息子たちがたどり着かなければならなかった地点であり、私たちが霊的救いのためにたどり着かなければいけない場所です。なぜなら、その地点で、私たちは罪人であることを認め、私たちの決して自分たちでは支払うことのできない代償の罪を悔い改めるのです。言うまでもなく、私たちはそれを先ほど見ました。

終わりに近づくと、このヨセフの物語には、実に大いなるメッセージが伝わってきます。それはこの真理、神と人の間の和解は可能であるということです。先ほど読んだローマ人への手紙 5章 10節は私たちが初めは神の敵として生きてきたが、神との和解は可能であると示してくれました。**イエス・キリスト**を通して神と和解した人たちは、他の人々と和解し、他の人たちとの間に平和を保つことは私たちの神との関係の一番の目印です。ヘブル人への手紙 12章 14節はそれを信徒として生きる時求めるべき聖い生活と直接繋がっています。**ヘブル人への手紙 12章 14節 “すべての人との平和を追い求め、また、聖さを追い求めなさい。聖さがなければ、だれも主を見ることができません。”**

私たちと他の人たちの間に平和があるなら、それはここでヨセフと彼の兄弟たちの間に見る事の組み合わせでしょう。私たちは彼らが過去の誤ちを悔い改めた時、ヨセフが許しを提供しました。彼は恨みを抱いていてもおかしくありませんでしたが、彼は恨みませんでした。彼は許しを申し出たのです。彼の兄弟たちはエジプトでの避難を拒否する事も、ヨセフの豊かさや彼らの困窮から、いまだにヨセフへの憎しみを抱き続ける事も出来ました。その代わりに、彼らは過去の過ちを悔い改めました。許しを乞わない事も、許しを与えないことも両方とも罪です。私たちが自分たちの生き方で本当に聖さとキリストのように生きることを求めれば、私たちは過ちを犯せばすぐに許しを乞い、またすぐに許すでしょう。ヨセフはなぜ彼が受けた仕打ちの後でも許しを与える事ができたのでしょうか。彼の高い身分から、ヨセフは彼の兄弟たちを彼らの救済者として豊かな生活を提供するのではなく、裁き、死刑を言い渡す事も出来ました。彼の言葉から、私たちはヨセフが兄弟たちのした事すべて、彼に起こったすべての出来事は、それが人又は神との関係の修復であろうと、究極的には神の御業だったことを理解しました。戻って、創世記 45章5-8節を見てみましょう。**創世記 45章5~8節 5. 私をここに売ったことで、今、心を痛めたり自分を責めたりしないでください。神はあなたがたより先に私を遣わし、いのちを救うようにしてくださいました。6. というのは、この二年の間、国内に飢饉が起きていますが、まだあと五年は、耕すことも刈り入れることもないからです。7. 神が私をあなたがたより先にお遣わしになったのは、あなたがたのために残りの者をこの地に残し、また、大いなる救いによって、あなたがたを生き延びさせるためだったのです。8. ですから、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、神なのです。神は私を、ファラオには父とし、その全家には主人とし、またエジプト全土の統治者とされました。**

この短い聖句で三度も彼は神の主権と摂理の事実を指摘しています。神が全てにおいて、働かれていることをたとえ他の人が私たちが不当に扱ったとしても、許す事が出来るよう助けてくれます。私たちが自身が救いを必要としている罪人であることを知ることは許しを与えることを可能としてくれます。今一度ヨセフの生涯は私たちの生き方と振る舞いの全てを形作る決定的な事実を指し示しています。全ては神の御手のうちにあることです。私たちが神の民であり、全てにおいて、神を信頼し、神の主権を信頼し、神の知恵を信頼し、神の愛と慈しみを信頼すれば、ヨセフのように神が私たちが御自身の栄光を現されるために私たちが用いられることを経験する事ができます。

最終的に、彼の家族を救ったこの救済者ヨセフは私たちが今日私たちの罪からの救いのために仰ぎ見る救い主イエス・キリストへの道を開きました。毎回、この主の晩餐に与る前に、私たちの救い主と私たちの創造主なる神と和解のためのイエスの犠牲を覚えます。あなたがイエス・キリストを主として、救い主として知っておられ、従順にバプテスマを授かっていれば、ぜひ、今日、私たちと共に聖餐式に与ってください。祈りましょう。

## Genesis 42-45 A savior is revealed

As we return to the life of Joseph today, we find him as the second in command over Egypt. He is in charge of managing the economics of the land in order to survive the 7 years of famine that are now affecting not only Egypt but everywhere in that area of the world. The next part of the story takes place over 4 chapters. Obviously we are not going to read everything or even most of what is in these 134 verses, but together they lead to Joseph revealing himself to his brothers and saving his family from starvation. If you have not already read these four chapters, I would encourage you to read it in full this week in order to get the full picture that the Bible paints. Although I will be summarizing a lot of the action, don't take my word for what it says, read the events for yourself. **Let's pray** and then get into the text for today.

As this part of the story begins in chapter 42, we learn that the famine has come to affect Jacob and his family in the land of Canaan. Jacob sends all of his sons to Egypt except the youngest Benjamin when they learn that Egypt has food for sale. Right away as we read what happens, we begin to see explanations for events in the past that were intended to foreshadow everything that happens now. In **Genesis 42:6** it says, **"Joseph's brothers came and bowed themselves before him with their faces to the ground."** And then in verse 9 we read, **"<sup>9</sup> And Joseph remembered the dreams that he had dreamed of them."** This of course refers back to the dreams Joseph had as a young man where he saw wheat in a field and sun, moon and stars in the sky representing his family, bowing down to him. Now, Joseph does not immediately reveal himself to his brothers. In fact, although he recognizes them, he accuses them of being spies. He even confines them in prison for 3 days initially before finally releasing them and giving them food. He only lets them leave though under two conditions. One, he keeps Simeon in Egypt imprisoned in order to test their honesty, at least that's what he tells them. He already knows they have been honest. They told him everything... that they were 12 brothers, but one (Joseph) had been killed years before, and the youngest Benjamin was back at home with their father. This was the second thing he told them, that when they returned they must bring Benjamin or they would receive no more assistance. Remember who Benjamin was to Joseph. He was his younger full brother and the only other son of the his mother who died in childbirth.

This was not the end of the stress of the journey for the brothers. Joseph had secretly returned all their money, which they discovered in their bags of grain on their journey home. When they got back to Jacob their father, they told him everything Joseph had told them including the fact that they could not return unless they brought Benjamin. Jacob, of course, strongly disagrees with this idea, since he has already lost Joseph and does not want to risk losing the only other reminder of his beloved wife, Rachel. The famine continues to drag on, though, and eventually Jacob's family runs out of food again. Jacob asks his sons to go to Egypt, and Judah tells him they can't go without Benjamin. Jacob finally relents and lets Benjamin go with them, but he does tell them to take some gifts with them as well as the money that was returned in their bags. They arrive in Egypt and this time Joseph has his servant invite them to enjoy a big meal with him. They are reunited with Simeon at this point.

When they see Joseph, they once again bow low before him and present the gifts and original payment to him. They likely assume something bad is about to happen to them based on Joseph assuming that they stole the money they paid the first time. They had tried to explain the situation to the steward who met them, but the steward responded in an interesting way in **verse 23 of chapter 43**... **"Peace to you, do not be afraid. Your God and the God of your father has put treasure in your sacks for you. I received your money."**

Joseph asks about their father, but it is when he sees Benjamin, who was likely only a young boy the last time he saw him that he becomes emotionally overwhelmed at seeing his beloved younger brother again. **Genesis 43:29-30 says,** <sup>29</sup> **And he lifted up his eyes and saw his brother Benjamin, his mother's son, and said, "Is this your youngest brother, of whom you spoke to me? God be gracious to you, my son!"** <sup>30</sup> **Then Joseph hurried out, for his compassion grew warm for his brother, and he sought a place to weep. And he entered his chamber and wept there.** He begins to give them strong hints that something is going on. They all sit separately from each other since Egyptians don't eat with Hebrews, but Joseph has them all seated according to age, which the brothers are amazed at. Benjamin's portion was 5 times bigger than any of the other brothers. As they prepare to leave, Joseph again returns their money into their sacks without them knowing, and this time has his servants put his personal silver cup in Benjamin's sack. Once the brothers leave, Joseph then has his servants go after them and accuse them of stealing from him. They search the bags and of course discover the silver cup in Benjamin's bag.

At this point, I want to ask a question, why did Joseph handle this meeting with his brother's this way? I hope by now we all know the ending, that he will reveal himself and save his family. So, why go through this period of keeping them in the dark and even seeming to "mess" with them. ***The answer lies in the nature of Joseph's life.*** Remember that Joseph is functioning as a type of Christ, a savior. Salvation only happens with repentance of sin. **Matthew 3:8 says, Produce fruit in keeping with repentance.** The first part of **Isaiah 30:15 says, For thus said the Lord God, the Holy One of Israel, "In returning and rest you shall be saved;** That word returning is the same word for repentance... In **Luke 5:32, Jesus says, 32 I have not come to call the righteous, but sinners to repentance."** And in **Acts 3:19 we read, 19 Repent therefore, and turn back, that your sins may be blotted out..** Repentance is key to salvation, and if you do not come to Christ repenting of your sins, you cannot be saved. Repentance means that you turn away from them. It doesn't mean you never sin again or that you immediately are able to quit every addiction to sin in your life. But it does mean that you recognize that you are a sinner and there is no other answer to that sin than forgiveness through the Savior, Jesus Christ. You turn away from your sin and turn to Jesus Christ.

If Joseph's story is about salvation, then you would expect to see repentance involved in this story, which is exactly what we see. While God can see every human's heart and know whether a person is truly repentant or not, Joseph is human and cannot read the hearts of his brothers, only words and actions. So this is a series of tests to see if they show any signs of repentance of their past. We as readers of the story have gotten a little insight already into at least a hint of repentance in their hearts, although Joseph was not aware of their words. **Genesis 42:21 says,** <sup>21</sup> **Then they said to one another, "In truth we are guilty concerning our brother, in that we saw the distress of his soul, when he begged us and we did not listen. That is why this distress has come upon us."** And then verse **28 says, "What is this that God has done to us?"** So, we are seeing at least some recognition of their responsibility for their past actions before God. This shows a recognition of sin. It is at this point in the story that Judah takes center stage in chapter 44. Joseph says that the rest of the men can leave, but the one whose bag his cup was found in would remain as his slave. In his intervention with Joseph on behalf of Benjamin, we get a true picture of a repentant heart.

It is significant that it is Judah that speaks here. Remember how Judah has been in the past. He is the one who led the brothers to sell Joseph in the first place and deceive their father. He did wrong by his daughter in law and ended up hiring her as a prostitute. But now as he

is facing his brother who was the victim of the first heinous sin we saw him commit, his repentance is evident. He retells the entire story of Joseph's life, and doesn't try to hide anything. He has no reason for this honesty just to protect Benjamin. In fact, as the oldest, who basically lost his position in his father's eyes to Joseph and now undoubtedly knows that Benjamin is the favorite, it should be quite easy for him to treat Benjamin as he did Joseph and leave him in Egypt. But something has changed. This is remorse for his past, a sense of guilt that can be best described as repentance. It most clearly shows in how Judah ends his plea to Joseph on behalf of Benjamin. In **Genesis 44:33-34** Judah says, **<sup>33</sup> Now therefore, please let your servant remain instead of the boy as a servant to my lord, and let the boy go back with his brothers. <sup>34</sup> For how can I go back to my father if the boy is not with me? I fear to see the evil that would find my father.** He cares about his father, rather than resents his love of Benjamin, and even offers to sacrifice his own life to save Benjamin's.

Judah's repentance is clear, and in response to seeing this heartfelt response from Judah, Joseph now reveals himself to his brothers. He sends everyone else out of the room, and **Genesis 45:2-4** tells us, **2 And he wept aloud, so that the Egyptians heard it, and the household of Pharaoh heard it.3 And Joseph said to his brothers, "I am Joseph! Is my father still alive?" But his brothers could not answer him, for they were dismayed at his presence. 4 So Joseph said to his brothers, "Come near to me, please." And they came near. And he said, "I am your brother, Joseph, whom you sold into Egypt.** He goes on to tell his brothers that there is still 5 years left in the famine and they need to go get their father and move all their family and assets such as livestock to live under Joseph's protection in Egypt. He tells them that they will be welcome to live in the land of Goshen. We will see later that Goshen is where shepherds lived and most of the Egyptians would leave them alone because they did not want to associate with shepherds. It was a sweet and emotional reunion. Verse **14-15 of Genesis 45** gives us a taste of their reunion. **14 Then he fell upon his brother Benjamin's neck and wept, and Benjamin wept upon his neck. 15 And he kissed all his brothers and wept upon them. After that his brothers talked with him.**

Even Pharaoh was excited to hear about the reunification of Joseph with his family. He gives the brothers wagons to bring their families back and tells them not to worry about what they can't bring, anything they need will be provided for them in Egypt. Then they leave Egypt in verse **24 of chapter 45. Then he sent his brothers away, and as they departed, he said to them, "Do not quarrel on the way."** Joseph knows their history and likely is anticipating the difficulty involved in delivering the news that Joseph is alive. Of course it would involve taking responsibility for their actions, so Joseph tells them "Don't quarrel"...He is not holding a grudge. He is giving forgiveness, so he is pressing his brothers to bring that same attitude toward family unity that he has. When they reach Canaan and their father Jacob, at first he does not believe them, but when he sees the wagons and all they bring with them from Egypt, he says in verse **28 as Genesis 45 ends, And Israel said, "It is enough; Joseph my son is still alive. I will go and see him before I die."**

As usual, with everywhere else in Genesis, we have to ask what's the point? In some ways, everything about the story continues to point to the continual theme of God's sovereignty in suffering. We finally see the ultimate reason for Joseph's suffering, at least in his lifetime. I would say the ultimate reason is preserving the people of Israel in order to bring the Messiah into the world. But there are specific points to this part of the story as well. First we have to see the Joseph's family was helpless to save themselves. Jacob only sent Joseph's brothers to Egypt because they had no way to grow crops and get their own food in their land. Spiritually, this is the same way we relate to our true Savior, Jesus Christ.

Salvation cannot happen as long as we believe there is a way for us to save ourselves from our sin. [Romans 5:10](#) describes us as enemies of God when it says, **10 For if while we were enemies we were reconciled to God by the death of his Son, much more, now that we are reconciled, shall we be saved by his life.** There are so many people in this world, and maybe some listening today who never truly see themselves as unable to save themselves. They don't view themselves as enemies of God. They think if they work hard enough, do enough good things, attend church enough, give enough money, think the right things, they can realign themselves with a God that they are simply distanced from. But we are not distanced from God, we are enemies of God. We are so far from him and his holiness and perfection that we can do nothing to redeem ourselves. That is the point that Jacob and his sons had to come to and that is where we must come for spiritual salvation. Because it is at that point that we admit we are sinners and repent of our sins that we can never pay for on our own. This of course is what we looked at earlier.

But there is a really great message that comes through in this story of Joseph, especially as it begins to wrap up. It is this truth: reconciliation is possible with people and God. [Romans 5:10](#) that we just read shows us that reconciliation with God is possible although we all begin our lives as enemies of God. And for those who have been reconciled to God through Jesus Christ, being reconciled with others, at peace with others, is a primary marker of our relationship with God. [Hebrews 4:12](#) ties it directly with the holy life we should be seeking to live as a believer. [Hebrews 4:12](#) says, **14 Strive for peace with everyone, and for the holiness without which no one will see the Lord.** If peace between us and others is going to happen it will likely be a combination of what we see here between Joseph and his brothers. We see them repenting of past wrongs, and we see Joseph offering forgiveness. He had much he could hold against his brothers, but he didn't. He offered forgiveness. His brothers could have rejected his offer of safety in Egypt and still harbored hatred towards him for what he had and they didn't. Instead, they repented of their past wrongs. Not asking forgiveness and not offering forgiveness are both sin, and if we are truly seeking holiness and Christlikeness in our lives, we will be people who are quick to do both. How was it that Joseph was able to offer this forgiveness after all he has been through? He has his brothers in such a position that he could easily be their judge condemning them to death instead of their savior offering life. His words tell us though, that he understood that everything they did, everything that happened to him was all ultimately a work of God, whether it is restoration with people or with God. Go back and look at [Genesis 45:5-8](#). **5 And now do not be distressed or angry with yourselves because you sold me here, for God sent me before you to preserve life. 6 ...Verse 7... 7 And God sent me before you to preserve for you a remnant on earth, and to keep alive for you many survivors. 8 So it was not you who sent me here, but God.** Three times in these short verses he points to the fact of God's Sovereignty and Providence. Recognizing that God works in all things, even when people mistreat us helps us to be able to offer forgiveness. Knowing that we ourselves are sinners in need of saving helps us be able to offer forgiveness. Once again, the life of Joseph points us to this one defining fact that should shape everything about our lives and our behavior. God is in charge! If we as God's people could just trust God in everything, trust his sovereignty, trust his wisdom, trust his love and his care for us, then we would experience God using us to glorify Himself just as Joseph did.

Ultimately, this savior Joseph who saved his family paved the way for the Savior Jesus Christ we look to today for salvation from our sin. Everytime that we approach this communion meal, we remember our Savior and his sacrifice to reconcile us to our Creator, God. If you know Jesus Christ as Lord and Savior and have been obedient in baptism, I invite you to join with us in this communion meal today. Let's pray.